

# 杉並区における外部の力を活用した部活動支援の取組

杉並区では、「教員数の減少」と「教員の意識の変化、多忙化」等の状況を踏まえ、部活動の活性化と教員の負担軽減等(⇒教育の質の向上)を図るため、以下のとおり、外部の力を活用した部活動支援の取組を推進。

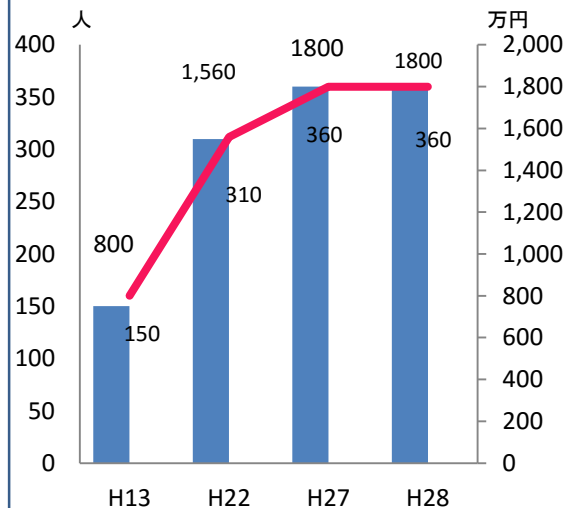
## 1. 外部指導員の配置

- 平成13年以降、計画的に全中学校へ配置
- 交通費費用弁償として、1回1日当たり2,200円(平成28年度予算約1,800万円)
- 顧問教員の補助として、地域人材が活動(資格要件なし)
- 平成28年実績で1校当たり年間延べ360人を活用(実人員約250人)

## 2. 部活動活性化事業の実施

- 平成25～27年度のモデル実施(土・日のみ)を経て、平成28年度から本格実施(平日に加え、土日、祝日に拡大)
- 学校ニーズに合わせて、事業者やNPO等に委託して、専門コーチによる部活動指導を実施。専門コーチは平日、または土・日・祝日の指導の他、公式試合に帯同して指導
- 平成28年実績で23校中17校36部活で事業を活用(全体で146部活中36部活で活用)。
- 委託経費は平成28年度予算3,000万円。

## 外部指導員配置数等



## 部活動活性化事業の実施校数等

		実施校数	部活数
モデル実施	H25	9校	20部
	H26	11校	20部
	H27	11校	24部
本格実施	H28	17校	36部
	H29	19校	45部
	H30	21校	51部

## 部活動活性化事業活用時の役割分担

- 顧問教員
  - ①当該部活の統括
  - ②生活指導
  - ③学期に1回以上の打合せ
- 専門コーチ
  - ①指定された日時における技術指導
  - ②技術指導を学びたい教員への指導
  - ③学期に1回以上の打合せ
  - ④種目によって試合帯同を許されている部の試合時の指示・指導
- 専門コーチの配置日数  
活用校の活性化活用状況に応じ週1～2回程度。但し、不在時の指導案に基づき、上級生からの指導による部活動を実践。

## 平成30年 51部活の内訳

硬式テニス	9	卓球	6
バスケットボール	6	サッカー	6
バレーボール	6	野球	1
バドミントン	7	剣道	2
ソフトテニス	3	その他	5